事業所名	児童発達支援　けいきlittle	支援プログラム	作成日	2025 年	3 月	17 日

法人（事業所）理念		人に共感し、人と共に生き、共に育つ			
支援方針		遊びを通して、楽しみながら自発的に人とかかわり、認知とコミュニケーションの力を伸ばすきっかけを作っていく。好きなこと、得意なことを土台として課題に取り組めるよう支援する。また、どんな小さな成功も肯定し、自信を育むことを大切にしている。			
営業時間		9 時 30 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	(あり) なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	健康状態の維持改善、生活リズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの獲得を目指して、自助具を使用した食事トレーニング、衣類の着脱等の日常生活動作のトレーニング、トイレトレーニング等、個々の課題に応じたリハビリテーションを行う。			
	運動・感覚	トランポリンやサーキット遊び等の多様な運動を通して、身体の柔軟な動作の習得を図る。 また、感覚の偏りや認知の特性に対する配慮及び環境調整を行う。			
	認知・行動	好きなこと、得意なことを土台として、遊びの中で楽しみながら、数量、大小、色等の習得、物の機能や属性、空間・時間の概念の形成を図る。 また、見通しをもって行動できるよう視覚的手がかりを用いて流れや場面を設定したり、音楽による誘導を行い、行動のスムーズな切り替えを促す。			
	言語 コミュニケーション	安心感、信頼感を基盤に自己主張を引き出す。 子どもに寄り添って、事物や体験と言葉を結びつけることを助け、場面に合った言葉、行動を促す。 子どものサインを見逃さず、しっかりと汲み取り、言語化を手伝ったり、代弁したりする。			
	人間関係 社会性	遊びを通して他者とかかわる機会を作り、交流を図る。集団参加を促し、集団や友だちに合わせて行動を調整できるよう導く。 順番、交代、並ぶ等の行動の理解を促し、集団活動が円滑に行えるよう援助する。			
家族支援		保護者と現況を共有し、困りごとやお悩みについて相談に応じ、必要な支援の提案、助言を行う。 また、年３回の保護者交流会を開催している。同じような経験、悩みをもつ者同士の支え合いの場となっている。	移行支援	移行先での生活や遊び、活動を理解し、障害に関する理解促進、支援方法、受け入れ体制の構築のために、移行先と連携する。 また、継続的な交流活動を通して、本人と家族が障害の有無に関係なく共に暮らすイメージがもてるよう支援する。	
地域支援・地域連携		自立支援協議会の児童部会へ積極的に参加し、地域の支援体制構築のために力を尽くしている。	職員の質の向上	職員が高いモチベーションをもち、満足して働ける環境整備に努めながら、理念や支援方針の共有、外部研修の受講を奨励している。	
主な行事等		バーベキュー交流会、クリスマス会 保護者交流会（年３回）			